

日本国憲法(抄)

第十四条 すべての国民は、法の下(もと)に平等であつて、人種、信条、性別、社会的身分又は門地により、政治的・経済的又は社会的関係において、差別されない。

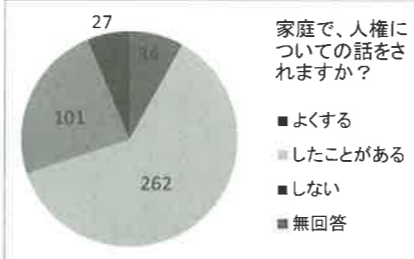
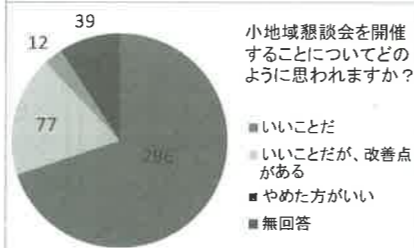
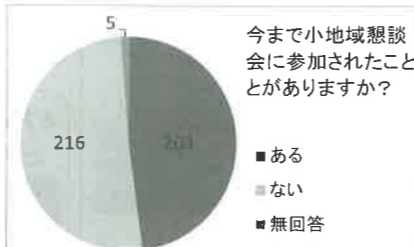
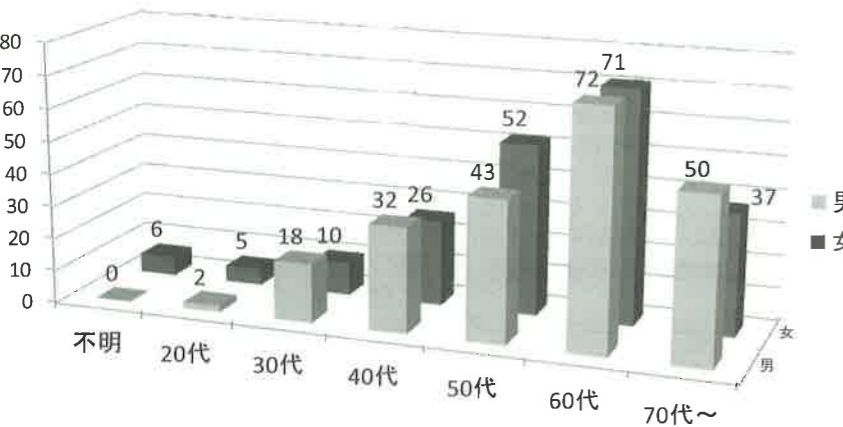
こやま地区人推協だより

第19号

2012年(平成24年)2月1日 編集・発行 湖山地区人権啓発推進協議会 〒680-0941 鳥取市湖山町北6丁目334 TEL(0857)28-1017 FAX(0857)28-1119

平成22年・23年度小地域懇談会アンケート集計結果

平成22年・23年度小地域参加者性別・年齢別グラフ



平成22・23年度に湖山地区民のみなさまに、小地域懇談会のアンケートをとらせていただきました。

今年度の湖山地区の人権に関する学習会は、公民館の生涯学習委託事業として、男女共同参画関連等五回、人権啓発推進協議会として、県外研修等二回及び、小地域懇談会十二回を実施しました。県外研修では大阪人権博物館に出向き、いのちの共生社会、人権思想、人権から見た日本社会等、普遍的視点での「人権」の概念について学ぶ、いわゆる「人権学習」と個別的人権課題について学ぶ「人権問題学習」を同時に勉強でき大変意義ある研修会でした。

積極的な小地域懇談会の開催を

湖山地区人権啓発推進協議会 会長 芦澤 喜武

このアンケート結果を上記に掲載してあります。紙面制約上掲載してない集会結果も他にあります。お問い合わせ下さい。これからの懇談会のあり方として、傍観的にならないで、積極的に開催(毎年開催の町内あり)されることを望む。又、内容的には人権学習(普遍的視点)と、人権問題学習(個別的人権課題)のバランスを考えなければならぬと考えている。

今年度の湖山地区の人権に関する学習会は、公民館の生涯学習委託事業として、男女共同参画関連等五回、人権啓発推進協議会として、県外研修等二回及び、小地域懇談会十二回を実施しました。県外研修では大阪人権博物館に出向き、いのちの共生社会、人権思想、人権から見た日本社会等、普遍的視点での「人権」の概念について学ぶ、いわゆる「人権学習」と個別的人権課題について学ぶ「人権問題学習」を同時に勉強でき大変意義ある研修会でした。

2011年度(平成23年度)湖山地区人権啓発推進協議会事業報告

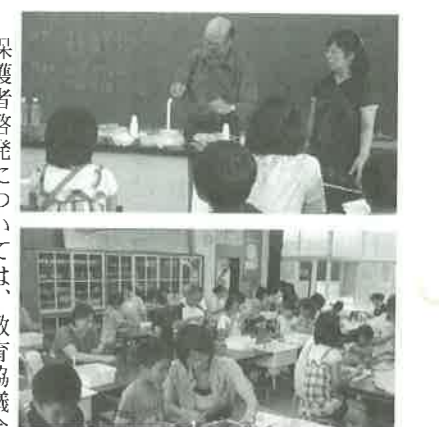
- 1 小地域懇談会の実施
(1)年間12回(湖山3区は自主開催)
7/23 湖山1区 人権劇「ある家庭の夕食時の会話」上演後、小グループで話し合い
7/24 湖山2区 講話「老後を楽しく生きるために」(寝たきりにならないために)
人権劇「ある家庭の夕食時の会話」上演後、小グループで話し合い
8/20 湖山3区 講話「家庭の中の人権は守られていますか?」ビデオ「おじいちゃんのおまじない」視聴後、小グループで話し合い
9/11 湖山1区 ビデオ「クリームパン」視聴後、小グループで話し合い
10/15 湖山2区 講話「家庭の中の人権は守られていますか?」ビデオ「老いを生きる」視聴後、小グループで話し合い
10/23 湖山3区 講話「家庭の中の人権は守られていますか?」ビデオ「老いを生きる」視聴後、小グループで話し合い
11/7 湖山1区 講話「家庭の中の人権は守られていますか?」ビデオ「老いを生きる」視聴後、小グループで話し合い
11/12 湖山2区 講話「夢のつづき」視聴後、小グループで話し合い
11/8 湖山3区 講話「認知症を学び地域で支える」講演後、小グループで話し合い
(2)視聴覚教材による啓発と話し合いによる意識の高揚
(3)自発的、定例的な実施の促進
2 各種団体への啓発、研修につとめる
(1)区長会・自治会(老人会、壮年団等各種団体)
(2)教育関係連絡協議会(保・幼・小・中・地区人推協)
(3)各種研修会への積極的参加
(1)推進員研修会
・全体研修会 6/25、11/12
・選択講座 全12回
(2)人権尊重社会を実現する鳥取市民集会 7/20
(3)人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会 8/3、8/4
(4)湖山ブロック研修会
・9/24 湖山ブロック人権教育研究集会
・11/7 湖山ブロック会長研修会
・1/14 湖山ブロック人権教育推進員研修会
(5)公民館人権啓発推進事業
・4/24 「将来の介護に備えて」[意外とある国の保障]
・9/14 県外研修「リハビリおおさか」人権博物館
・11/25 「女性の人権・男女参画時代がやってきた」
・2/24 「認知症を学び地域で支えよう」(予定)
(6)その他各種研修会
4 啓発事業に重点を置き、地区住民の正しい理解と意識の高揚につとめる
(1)地区人推協だよりの発行
(2)公民館だよりの活用

湖東中学校
学校の取り組みとしては、①人権尊重の精神にのっとり、豊かな人権感覚を培う教育実践と仲間づくりを通して、人権問題を正しく認識し、あらゆる差別を解消しようとする生徒を育成する。②自尊重重な一人ひとりが本来もつて豊かな能力を発揮して自己実現を遂げる生徒を育成する。この二項目を目標に定め、人権教育を実践してきた。



全校学級づくり

本校では、人権教育目標として「働き合える関係の中でどの子にも学力を保障する」「ちがいを認め合い安心して学べる関係を育む」との関係を通して人権を守る力をつける。この三点を掲げ、学校教育活動全体を通して人権教育に取り組んでいる。具体的には、体験学習や交流学習を通して多様な関わりが持てるよう、人権教育三年指導計画の見直しを行い、人権動の中にペアやグループによる学びを取り入れることにより、「きく力」や「話し力」の育成を図っている。



親子で竹細工に挑戦

保護者啓発については、教育協議会人権教育推進部の研修会として、七月三十日に第一回保護者研修会を実施した。講師として、毎月かにつく館で竹細工教室を開催しておられる中井英智さんと、鳥取県ろうあ団体連合会会長の萩原耕三さんにおいでいただき、「コミュニケーションを楽しもう!」をテーマに親子で竹細工に挑戦した。(写真右)

ひかり幼稚園

本園は、キリスト教保育を土台として、一人ひとりを大切にしていける保育を基本としており、家庭的な雰囲気の中、幼い心と身体を成長を育んでいくことを心がけている。保育の原点である「人権保育」の取り組みとして、乳幼児期から集団生活の中でさまざまな体験を通して人との力を育てることを掲げている。子どもたち一人ひとりが日々の生活や遊びの中で、豊かな感性を育てながら自分の思いをはっきり伝え、「仲間を思いやる心」「命を大切にすること」を大切にしている。そのために子ども一人ひとりを理解し、認め合いながら、園と家庭が連携を密に、共に子育てしていくことを心がけている。

編集後記

昨年三月十一日に起きた東日本大震災から一年を迎えようとしています。見直されている人と人との「絆」を大切に、家族や地域の交流を深めるためにも、小地域懇談会へぜひ参加していただきたいと思います。ご寄稿いただいた方々に厚くお礼申し上げます。

『人間関係』○笑顔であいさつ、認めあい、支えあい、つながりあいの異年齢交流。近年、子どもの発達に重要な環境が大きく変化し、子どもの発達に重要な人間関係が希薄傾向にあるといわれている。本園は子ども自身が「大切にされている」「愛されている」と感じられるかわりや環境を整え、安心していきいきと園生活を過ごすことが重要と考えて保育を進めている。

湖山保育園

本園は、鳥取市保育基本方針に基づき、子どもの成長・発達に必要な遊び、様々な人やできごとに向き合う経験及び挑戦する意欲を大切にすることにより「生きる力」を育てていくことを目指している。また、保育士と子どもの信頼関係を基盤にして、家庭や地域と連携しながら子どもの心身ともに健康で情緒が安定する環境を整えるように努めている。近年の核家族化の増加に伴い、車中心の生活で戸外で遊ぶ経験が少なく、足腰や筋力の弱さが懸念されている。しかし、このような実態を踏まえ、苦手なことにも挑戦しようとする力、達成感、満足感を持たせ、心とからだを解きほぐし、しなやかなからだづくり「生きる力」を蓄えたいからだ育てをしよう。主な活動として、○豊かな体験活動(園外活動、菜園活動)○いろいろな人とのかかわり(異年齢交流、地域の人の交流、中・高校生との職場体験など)○食育活動(菜園活動、クッキング、食事マナーなど)○家庭、地域との連携(家庭訪問、クラス懇談、保護者による広報紙発行など)を行っている。

# 2011年度 こやま地区 人権推進協議会 小地域こんだん会

**11月12日(土) 南通り町内会**  
ビデオ「夢のつづき」 河野 強さん

老人問題に関して、参加者の背景に根ざした感想を述べ合った。共感できる所が多々あった。充実した議論が展開できたと思います。

**1月8日(日) 駅前3区町内会**  
講話「認知症を学び地域で支えよう」 香河 良行さん

鳥取西地域キャラバンメイトの山田節子さんによる講演とグループ討議を行いました。認知症を正しく理解するために、症状について事例を交えて分かりやすく説明して頂きました。認知症の人と接するときの心構えと、介護する家族の気持ちを考える参考にもなり、地域で支えることの重要性を感じました。高齢化に伴い地域の人による「声かけ」など支援の取り組みが今後はますます必要になってくるということを感じました。地域で話をするきっかけになったと思います。

**10月30日(日) さざなみ町内会**  
講話「家庭の中の人権は守られていますか？」 山田 龍二さん

町内からの参加が少なかったのが残念でしたが、夫婦・親子間の会話の中で人権について学ばせていただきました。思いやりのある行動ができるようにこれからもより一層心がけていきたいと思ひます。

**11月6日(日) 新川区町内会**  
ビデオ「老いを生きる」 森 道美さん

核家族化、高齢化が進展する社会において、誰もがさけては通れない高齢者の人権問題について教材ビデオ「老いを生きる」を見て学ぶ機会に恵まれました。この問題は、明日は我が身、高齢者の人権が尊重されながら、病気を認めて家族ぐるみで取り組み、民生委員を中心に隣近所の気配り、協力が必要だと強く感じた小地域懇談会でした。

**9月11日(日) 浜区町内会**  
ビデオ「おじいちゃんのトマト」 木下 俊基さん

とてもよかったです。今後とも続けて勉強会をしたいと思ひます。

**10月23日(日) 茶屋1区町内会**  
ビデオ「老いを生きる」 富永 二郎さん

物語が映像のため、理解しやすく参加した区民にとっては問題点が理解しやすく良かったと思ひます

**10月15日(土) 松ヶ丘町内会**  
講話「家庭の中の人権は守られていますか？」 安東 芳子さん

多様化する家庭の中には多くのストレスの種が潜在しています。その中でより良く生活していくには「違いを認めても決して否定しない。」「物事を一面的に見るという力を身につける。」ということの必要性を強く感じています。大変な努力がいますが、日々そうでありたいと思ひています。

**8月20日(土) 大石橋町内会**  
人権劇「ある家庭の夕食時の会話」 松本 勝さん

「人権劇」を見て、日常の何げない会話の中に、家族でさえ傷つける言葉を使っていることに気付きました。活発な意見交換もでき、大変良い懇談会になりました。

**8月27日(土) 井津水区町内会**  
ビデオ「新しい風」 影井 収さん

社会問題化している配偶者からのDV(暴力)、親から子への虐待等、家庭内の人権問題を描いたビデオでした。グループ討論では「うち夫婦円満だ!」との発表もあり、和気藹々の雰囲気で行進しました。家庭内で人権を意識して生活することはあまりありませんが、身内から人権を尊重することの大切さを学ぶ良い機会となりました。

**7月23日(土) コクヨ前町内会**  
人権劇「ある家庭の夕食時の会話」 作野 友康さん

日頃、人権について特に考えたことがなかったのですが、人権劇を見た後グループ討議をしたことは、大変有意義なひとときでした。

**7月24日(日) 茶屋2区町内会**  
講話「心の健康」「身体の健康」 小泉 武美さん

小地域懇談会を開くにあたり、高齢化がもっとも進んでいる町内会の願いとして、介護の世話にならず、生き甲斐を持って自立した生活が続けられるそんな地域コミュニティを創りたい。そして、その思いから金龍寺住職 岡崎正眼和尚と上山整形外科 上山奎自先生に講演をお願いしました。参加された町内の皆さんも真剣に聞き入って、時間が経つのも忘れるほど中身の濃い懇談会になりました。

## 湖山地区推進員活動報告



**前田 博貴**  
突然ですが皆様へ声を掛けたいです。人権の話など聞きたくない、話したくない方、そうでもない方へ。人権の講演会、懇談会へ参加してみませんか。そして、話を聞いた方たちと話をしたら、必ず何かを感じることがあるでしょう。町内の方と気軽に話ができる良いきっかけが出来るのではないかと思います。



**山名 恒雄**  
人権推進員に委嘱されて二年が経とうとしていますが、小地域懇談会の仕方についてはいろいろな方法があり、公民館あるいは、推進員が地域の担当者や打ち合わせしながら、それぞれの要請に合った方法で行われたいです。講師を招いて話を聞いたり、推進員と公民館職員による人権劇の実演、テーマを絞った内容のビデオを見て勉強したりしながら、その後、討議をし、発表をしてもらう方法を取っています。



**児島 恵子**  
人権って何でしょう？個人が自分らしく生きるために必要な不可欠な権利とあります。残念なことですが、その権利がいろいろな所で差別として現れているのが現状です。そこで、人権推進委員は、各地区で行われる小地域懇談会を通して、人権について皆さんと一緒に話し合いをし、問題に気づき、これからどんな生き方をしたらいいのか、どんな社会をめざしたらいいのかを考えています。



**門脇 和子**  
人権を学ぶと、人と人が心豊かにつながっていきます。自分を中心に考えると、無意識に人を傷つける言葉が出てきます。言葉は心です。心の教育、それが人権教育につながっていくのではないのでしょうか。

「思いやりのある、共に生きる社会」をめざして、ご近所の方や仲間の方といういろいろな意味でコミュニケーションをとりあっていたらと思います。

平成二十三年の漢字に選ばれた「絆」という言葉が人権を考える入り口のように思っています。

### 湖山地区公民館 人権啓発推進事業より

人権啓発推進事業に参加して

山根 田鶴子さん  
人権博物館には高校生、少年数グループ、家族の方々も多くの人びとが来館もあり、私たちの社会生活にとって重要な施設であると思ひました。統一テーマは「私たちのいのち・社会・未来」となっていました。全館内を見学しながら実際に自分で体験することが大切であると痛感しました。私たちの日常生活の中で気づかないことの多いこと、また、常に感謝の心を忘



### 第三十六回人権尊重社会を実現する鳥取研究会



八月三日、四日倉吉を中心に第三十六回人権尊重社会を実現する鳥取県研究会が開催されました。八月四日に北栄町北条農村環境改善センターで行われた第一分科会第二分科会で「人権のまちづくり」小地域懇談会が培った人の輪と構造と題して湖山地区人権啓発推進協議会の活動報告(湖山地区の小地域懇談会の課題、対策と取り組み)を谷尾洋介さんが発表しました。とくに、湖山地区の小地域懇談会の屋外開催や外国の方を講師にした懇談会等、各町内会で「主体性と工夫」が生まれていることや小地域懇談会での「人権劇」の取り組みなどが参加された皆さんに高い評価をいただきました。

### 県外視察研修に参加して

大橋 美智恵さん

私は常々、人と人との関わりの中で人権問題は避けて通れない道だと思ひていました。実際に見学してみると、イラストや体験コーナーがあり、同和問題、女性差別、障がい者等の人権問題が子どもにもわかりやすく扱われていました。実際に体感してみ、私たち大人には純粋な子どもたちの心



工夫」が生まれていることや小地域懇談会での「人権劇」の取り組みなどが参加された皆さんに高い評価をいただきました。